

第5学年 社会科学学習指導案

社会科研究室

1 小単元名 「日本の工業の特色 日本の貿易」(10時間)

2 小単元の構想

こんな子どもだから(子どもの実態)

関心・意欲・態度

本学級の子ども達は、前単元「自動車の生産にはげむ人々」の学習の中で、産業用ロボットの技能の高さや、それらを生産工程の中で生かす人々の工夫や努力について、自動車工場と製鉄所の見学を行い、意欲的に調べていた。また自動車がたくさん売れていることについての関心も高くなっている。

資料活用・表現・コミュニケーション

1学期単元「暖かい沖縄県の人たちの暮らし」「寒い新潟県の人たちの暮らし」では、わかったことを地図にまとめる活動を仕組んだが、地図の内容を白地図に写すという活動がほとんどであり、考えを反映させるような地図の活用はできなかった。しかし、前単元「自動車の生産にはげむ人々」では、日本の自動車が外国や国内でたくさん売れている理由を資料を使って意欲的に調べ、調べたことを資料を見せながら発表することができていた。

知識・理解、社会的な見方・考え方

自動車の生産には様々な人々の工夫や努力が詰まっていること、自動車の生産のために原材料を確保したり販売したりするために貿易や運輸などの働きが大切であることを理解している。また自動車は日本を代表する工業製品であるという見方ができている。

こんな教材で(指導要領・教材の価値)

学習指導要領5年の内容(3)から

我が国の工業生産について、次のことを調査したり地図や地球儀、資料などを活用したりして調べ、それらは国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考えるようにする。

ア 様々な工業製品が国民生活を支えていること

イ 我が国の各種の工業生産や工業地域の分布など

ウ 工業生産に従事している人々の工夫や努力、工業生産を支える貿易や運輸などの働き

特に本単元ではアとイの内容が中心になる。

学習指導要領5年の目標(3)から

社会的事象を具体的に調査するとともに、地図や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を効果的に活用し、社会的事象の意味について考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てるようになる。

特に効果的に活用するとは、資料を例にすると、第5年においては、次のように活用する。

- ・資料から必要な情報を読み取る。
- ・資料に表されている事柄の全体的な傾向をとらえる。
- ・複数の資料を関連付けて読み取る。
- ・必要な資料を収集したり選択したりする。
- ・資料を整理したり再構成したりする。

この目標を実現するために、

学習問題に即して具体的に調査したり、地図帳や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を活用したりして調べることができるようにする必要がある。また、調べたことや社会的事象の意味について考えたことを、根拠や解釈を示しながら図や文章などで表現し説明することができるようにすることが大切である。

知識理解、社会的な見方・考え方の観点から

- ・様々な工業製品が日常生活を支えている
- ・様々な産業において工業製品が利用されている
- ・工業生産の種類 ・種類別、規模別
- ・主な工業地域の分布 ・工場数 など

↓

日本の工業の特色と工業生産は国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考えることができる。

資料活用・表現・コミュニケーションの観点から

本小単元では、「我が国全体の工業生産の現状や特色を具体的にとらえられるようになる」ために、様々な種類の地図やグラフなどの資料が必要であり、そこから必要な事実を収集したり選択したりするなど、資料を活用して必要な情報を読み取ることができる教材である。

また、それらの複数の資料から得た事実を関連付けたり、全体的な傾向をとらえたりすることで、日本の工業の特色について考え、表現する子どもの姿が期待できる。

さらに、それぞれの考えを交流する場面を設定することで、自分の考えを資料をもとにしながら相手に伝えたり、友達の考えを聞いて考えを見直したりすることができ、話し合いながら、自分の考えを深める子どもの姿が期待できる。

研究内容① 地図の特性を生かした学習問題の設定

学習問題を『日本の工業や貿易にはどのような特色があるのだろう。』と設定した。その際、「日本の工業にはどのような特色があるのだろう。」と「日本の貿易にはどのような特色があるのだろう。」の2つの学習問題に分けて学習を進めるようにした。

地図には**分布**や**広がり**をとらえることができるという特性がある。この特性を生かして調べ活動を行うような単元構成を行うためには「特色」を調べることが考えられる。工業地域の分布や広がりや場所を調べることで、日本全体の工業のさかんな地域に関する特色にせまらせたい。

また、地図には**結び付き**や**地形**をとらえることができるという特性がある。この特性を生かして調べ活動を行えば、港や高速道路・鉄道など工業地帯と交通との関係に気付くことができたり、平地や埋立地・気温など、工業がさかんな場所と地形との関係に気づくことができたりする。また、日本の工業は原料の輸入や海外への輸出などの貿易を通してさかんに行われているという特色をとらえることもできる。

さらに、学習問題を設定する場面では、地図の**位置・距離・分布の意識**をもつことができる特性を生かして、日本地図や世界地図を提示することで、日本の海に囲まれていること、他の国との位置関係、日本の貿易額の多さなどに着目させ、日本の工業と貿易の特色はどのようなものであるかという疑問をもたせたい。

研究内容② 単元の各段階における地図の位置付け

本小単元では、考えを深めるために地図による調べ活動や交流場面を以下のように位置づける。

○つかむ段階…世界地図や日本地図を使って、日本の位置・外国との距離についてとらえさせ、「日本の工業の特色」と「日本の貿易の特色」について調べようという意欲をもたせる。

○さぐる段階…分布・広がり・結びつき・地形との関係・交通網などがわかるように工夫した地図を資料として与え、そこから必要な事実をつかませる。また、つかんだ事実を吟味する活動を仕組む。

○まとめる段階…事実を整理し、自分の考えを再構成して、「日本の工業の特色は～」「日本の貿易の特色は～」と考えを文章化する活動を仕組む。その際、白地図にその根拠となる事実を書きこんでいくようにする。

※各段階における具体的な地図は、指導計画を参照

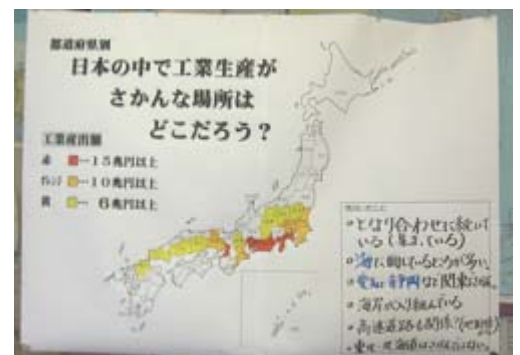
研究内容③ 地図の内容と提示するタイミング、見せ方の工夫（本時授業場面）

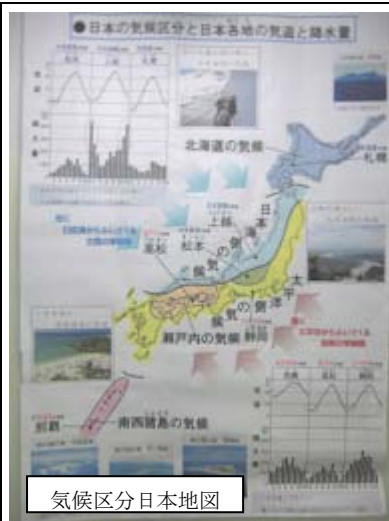
何のために…日本の工業がおこなわれている場所の特色を見つけるため

何を…工業分布図（工業総産出額の高い都道府県のわかる地図）・日本地図（地勢）・立体日本地図・気候区分地図・航路日本地図・高速道路のわかる日本地図・空港の書き込まれた地図など

どのように…これらの地図を教室内に掲示し、工業がさかんなわけを自分で見つけられるようにする。

また、その地図資料を根拠として工業がさかんになっているわけを学習プリントに書けるように工夫する。発表の時にも根拠として示せるようにする。





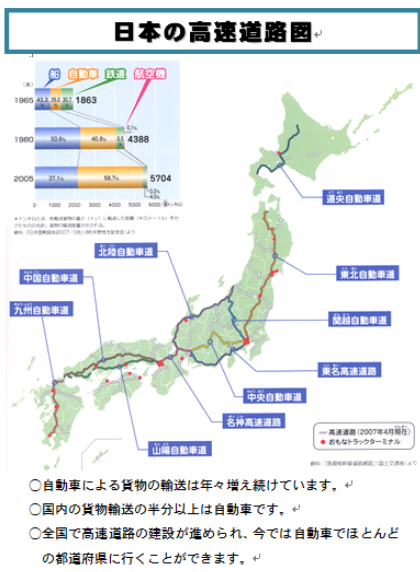
気候区分日本地図



都市人口がわかる日本地図



日本立体地図

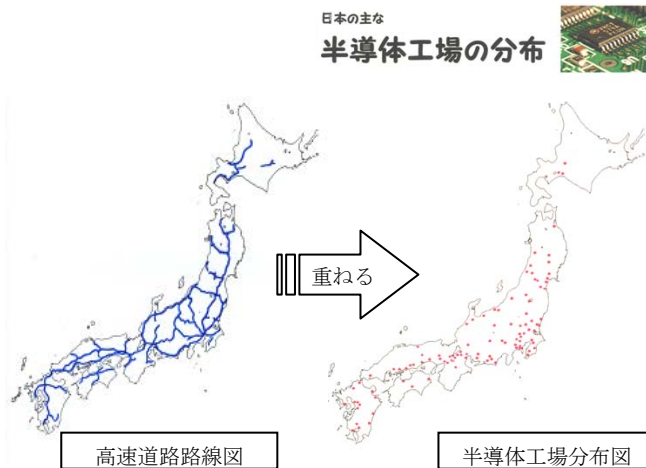


何のために…工場と交通網の関係性を確認するために
何を…半導体（IC）工場の分布図・高速道路地図
どのように… まず、半導体（IC）の説明を行い、小さくて軽い工業製品であることを説明し、この工場が日本の各地、山間にも分布していることを提示する。

次に、このわけを考える間を取る。（空気のきれいな場所・高速道路がある）

最後に高速道路地図と重ねて提示することで、高速道路と関係があることを確認する。

日本の主な半導体工場の分布



こんな子どもに（単元目標）

- 我が国の工業と貿易の現状や特色について、地図やその他の資料を使って意欲的に調べ、日本の工業と貿易の特色について考えようとする事ができる。（関心意欲態度）
- 様々な事実からその関連性を読み取り、日本の工業は貿易をしながら、機械工業を中心に進められており、国内だけでなく国外に向けても工業生産を進めてきたことを考えることができる。（思考判断）
- 我が国の工業と貿易の特色をとらえるために、地図などの資料から必要な事実を集めたり、整理したり、それらを効果的に発信したりすることができる。（資料活用・技能・コミュニケーション能力）
- 我が国で生産されている工業製品の主な種類と生産額、主な工業地域の分布と立地、原材料の確保などについて、地形や交通との関係も含めて、現状が分かり特色を理解することができる。（知識理解）

3 小単元の構成図

小単元のねらい

私たちの周りには様々な工業製品があり、私たちは工業製品に支えられて生活している。我が国の工業生産は太平洋ベルトからもわかるように、埋立地を作りやすく船も入りやすい海沿いで盛んに行われており、運輸や気候の面からも条件に恵まれた太平洋沿岸部に大きな工業地帯が作られている。また、機械工業を中心として輸出や輸入を盛んに行うことで、我が国は利益をあげている。しかし、外国との関係も考えながらこれからの貿易は進められなければならない。

考ええること

【工業の特色】

- ◎日本の工業は機械工業を中心としている。
- ◎大工場と中小工場など色々な規模の工場が協力して生産を行っている。
- ◎太平洋ベルトと言われるように太平洋側の海沿いで盛んに工業が行われている。
- ◎工業生産と運輸は深い関係があり、車や船、飛行機を使って原料や完成品を運んでいる。

【貿易の特色】



- ◎原料を輸入し、製品を輸出する加工貿易を行っている。
- ◎アメリカやアジアを中心に貿易が盛んに行われているが、輸出入の品目によって世界の各国と貿易を行っている。
- ◎日本は貿易で利益をあげているが相手の国のことも考えてこれからの貿易を行う必要がある。

調べる事実

- 工業製品の分類
 - ・重化学工業 ・軽工業 …さらに細かい分類
- 多く作られている工業製品
 - ・機械工業中心 ・重化学工業がさかん
- 大工場と中小工場の関連
 - ・下請け関連工場 ・原料を加工する中小工場
- 工業がさかんな場所
 - ・太平洋ベルト
 - ・運輸（船、自動車、空港） ・平地
 - ・温暖な気候 ・埋立地

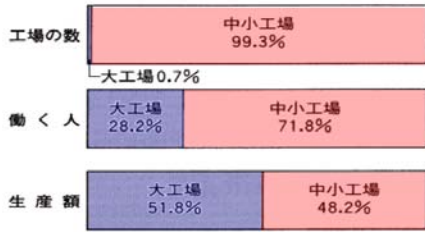
- 貿易額
 - ・輸出入ともに世界4位の額
- 輸出について
 - ・機械中心、自動車、鉄鋼
 - ・アメリカ、中国、韓国、台湾、香港
- 輸入について
 - ・原料輸入品…石油 ・機械…中国
 - ・原料輸入国…中近東 ・自動車…アメリカ
- これからの貿易
 - ・逆輸入 ・貿易摩擦 ・貿易黒字

4 指導計画

段階	配時	学習活動と内容	教師の支援 及び テーマに沿った手立て
つ	2	1 自分の身の回りの工業製品について考え、学習問題を作る。	○ 工業の定義については教師が教える。 「工業」…原材料を加工して形や性質を変えたり、部品を組み立てたりして生活に役立つ製品を作る仕事。  
か	①	(1)「工業」について知り、自分の身の回りにある工業製品に目を向ける。 ・自分の身の回りには工業製品がたくさんある ・種類もさまざまである	
む	①	(2)工業製品の分類について知り、資料から学習問題を作る。 ○身のまわりの工業製品について出し合う。 ・たくさんの種類 ・なくてはならない ○工業の分類を知る。 ・重化学工業…機械工業、化学工業、金属工業 ・軽工業…食品工業、繊維工業、紙パルプ工業など	

- 日本の工業の特色に目を向ける資料から疑問や調べられることを考える。(日本地図)
- ・どこでどんなものが盛んに作られているか
- ・小石原では… ・米は東北地方だった
- ・大工場と中小工場の生産額と数

●大工業と中小工場のわり合い(2006年)



※大工場とは、働く人300人以上の工場のこと。
(日本のすがた2009年版)

- 日本の貿易の特色に目を向ける資料から疑問や調べられることを考える。(世界地図)
- ・外国製品が身のまわりに多い
- ・輸出入それぞれ世界4位

学習問題

日本の「工業」と「貿易」にはどのような特色があるのだろう。



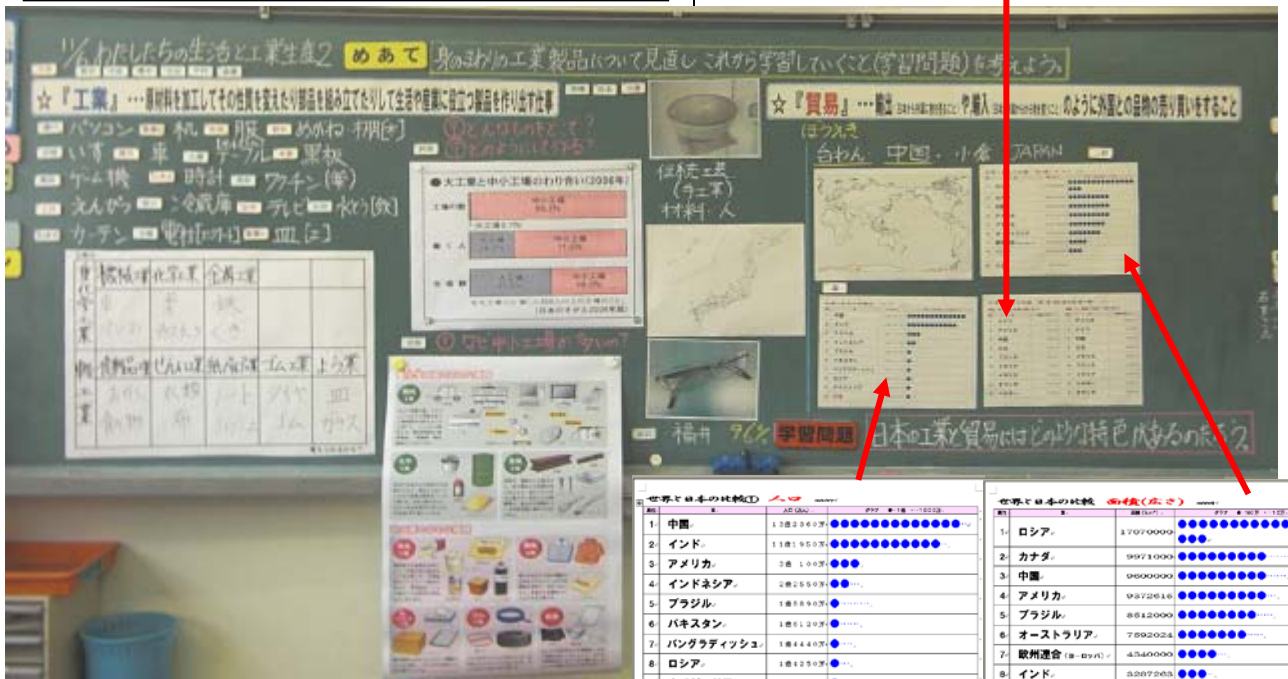
- 日本の工業の特色を調べようという意識を持たせるために、伝統工業の小石原の学習や米作りの農業の学習を想起させたり、中小工場の様子を知らせたりする。

- 貿易の定義についても教師が教える。
「貿易」…輸出、輸入のように外国との品物の売り買いのこと。

- 貿易がさかんに行われていることに気づくことができるように、原産地が外国の物や日本の貿易額のグラフを見せる。

世界と日本の比較 貿易総額(輸出+輸入)		貿易への貢献(輸出+輸入)	
順位	国	貿易総額(億ドル)	貿易への貢献(億ドル)
1	ドイツ	9110	16297
2	アメリカ	8100	7190
3	中国	6904	6907
4	日本	6667	4846
5	フランス	4245	4517
6	イタリア	3657	4420
7	イギリス	3419	2547
8	オランダ	3176	2863
9	ベルギー	3003	2830

- 「特色」という言葉は、教師が提示することも考えられる。



世界と日本の比較 人口		世界と日本の比較 面積(広さ)	
順位	国	人口(億人)	面積(万km ²)
1	中国	13億2360万人	960万
2	インド	11億1950万人	328万
3	アメリカ	3億1000万人	960万
4	インドネシア	2億2590万人	190万
5	ブラジル	1億890万人	850万
6	パキスタン	1億520万人	790万
7	バンラディッシュ	1億440万人	147万
8	ロシア	1億290万人	4000万
9	ナイジェリア	1億240万人	92万
10	日本	1億220万人	378万

4 2 日本の工業の特色を資料から考える。

- ① (1)学習問題の答えを予想する。

学習問題 1

日本の工業にはどのような特色があるのだろう。

- 多く作られている工業製品について予想する。
 - ・自動車 ・パソコン ・洋服 ・食品
- 中小工場と大工場の関係について予想する。
 - ・関連工場
- 工業の盛んな場所について予想する。
 - ・海沿い ・大都市 ・交通機関

- ① (2)日本で多く作られている工業製品について資料から考える。

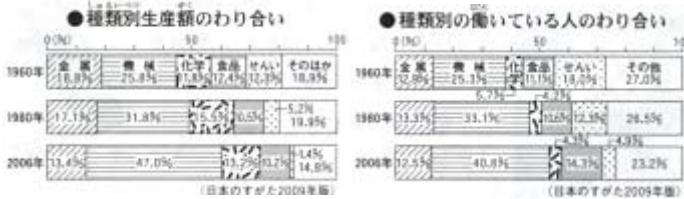
- ↑人口世界で10位 ○↑面積62位

- 「特色」という言葉は、大きい定義であるため、盛んな製品、盛んな場所、工場の規模など視点を教師が与える。

- グラフや資料を読み取り、そこからわかる事実を特色としてまとめさせていく。

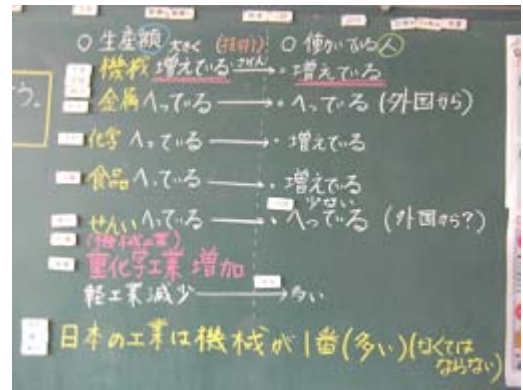
○生産額と就業人数のグラフから考える。

- ・機械工業が中心
- ・重化学工業がさかん



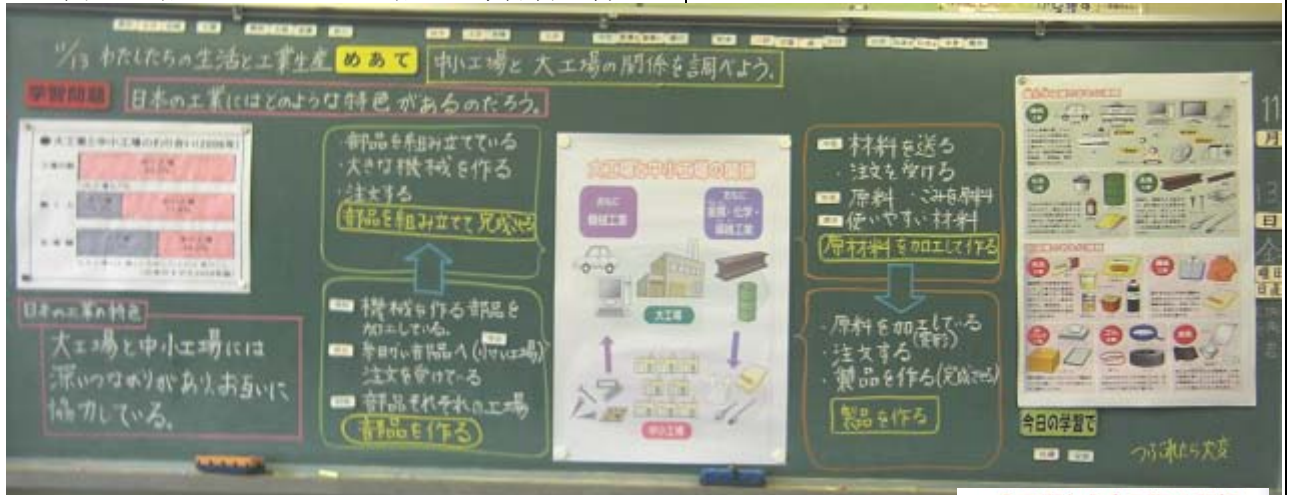
◎日本の工業は機械工業が中心。

◎日本の工業は重化学工業が中心。



① (3) 中小工場と大工場の関係について資料から考える。

- ・関連工場
- ・大工場から原材料を得る



◎大工場と中小工場には深いつながりがあり、お互いに協力している。

① (4) 日本の中で工業生産がさかんに行われている場所について考える。

○日本の中で工業が盛んな場所について知る。

- ・海沿い
- ・関東中心
- ・愛知、静岡が多い



○工業生産額が高い都道府県が集まっているわけを資料をもとに調べる。



○ 分布図を初めに見せ、工業が盛んなわけをほかの地図から探していく作業を仕組み、日本の工業の特色について考えさせるようにする。

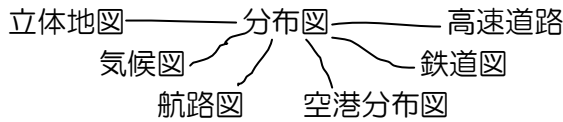


○ 調べた事実は根拠を基にしながら学習プリントにまとめられるようにする。

① 本時

(5)資料から工業のさかんな場所とその理由について考える。

○地図資料を関連させて考える。



- ・太平洋ベルト
- ・三大工業地帯

◎日本の工業は太平洋ベルトといわれる太平洋側の海沿いで多く行われている。

○半導体工場の分布図をもとに高速道路との関連を考える。

◎これから、太平洋ベルトだけでなく様々な場所で工業生産は行われていく。

3 3 日本の貿易の特色を資料から考える。

① (1)学習問題の答えを予想する。

学習問題 2

日本の貿易にはどのような特色があるのだろう。

○日本の輸出の様子について予想する。

- ・自動車
- ・機械

○日本の輸入の様子について予想する。

- ・原材料
- ・石油

① (2)資料から輸出と輸入の様子について考える。

○品物について考える。

- ・輸出も輸入も機械が多く、自動車も多い
- ・石油などの原料を輸入して、製品を輸出

○相手国について考える。

- ・輸出の相手国はアメリカ、輸入の相手国は中国
- ・石油の輸入は中近東
- ・アジアとの貿易が多い

◎加工貿易…原料を輸入して製品を輸出する

◎アジアを中心に貿易を行う

◎自動車はアメリカに、石油は中近東から

① (3)資料からこれからの貿易について考える。

- ・逆輸入…日本が外国に工場を作り、そこで作ったものを輸入する

- ・貿易摩擦…相手国とバランスのとれた貿易

- ・貿易黒字…輸出額が輸入額よりも多いこと

◎日本は貿易でもうかっている

◎相手の国のことも考えて貿易をする必要

1 4 工業と貿易について白地図を使ってまとめる。

○必要な事実を白地図に書き表してまとめる。

○ 前時で調べた結果を発表し、様々な理由から工業生産が多く行われている場所が集まっていることを理解する。

○ 「太平洋ベルト」「三大工業地帯」について教師が教える。

○ 半導体工場の分布図を最後に見せることで、運輸と工業の関係性を確認させる。

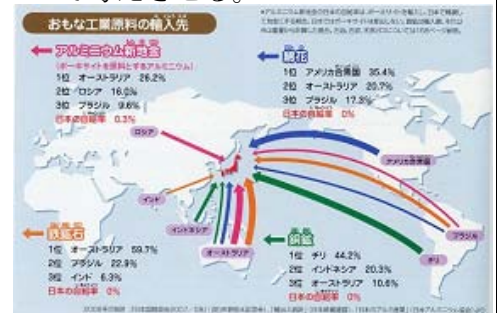
日本の主要半導体工場の分布



○ 輸出と輸入の視点から予想させる。

○ 予想の根拠となるような工業の資料は教室に掲示しておく。

○ 貿易の品目や相手国から原料を輸入して製品を輸出するという日本の貿易の特色について考えさせる。



○ 白地図でまとめることで、根拠となる事実をはっきりさせながら特色について自分の考えをまとめさせる。

6 本時の目標

- 日本の工業のさかんな場所について、地図資料からその理由を考え、話し合うことで考えを深めることができる。(思考・判断)

7 本時指導の考え方

前時までに子ども達は『日本の工業にはどのような特色があるのだろう』という学習問題で、「日本ではどのような工業製品を多く作っているか」「大工場と中小工場はどのような関連があるか」について資料から必要な事実を読み取り、日本の工業の特色を考えた。

本時では「日本の工業がどこでさかんに行われているか」について地図資料を中心に必要な事実を読み取ったものを話し合い、日本の工業生産が太平洋ベルトと呼ばれる太平洋沿岸部に集まっている理由を見つけ、日本の工業の特色を考えることをねらいとしている。

太平洋ベルトに工業生産が集まっている理由を以下の7点の理由とする。

- ①海沿い…原料や完成品を船で運ぶのに便利
- ②海沿い…埋立地を作りやすいから(敷地を広げやすい・大型船も近づけやすくすることができる)
- ③平地…平地のほうが、工場を建てやすい
- ④都市部…働く人を集めやすい(市場が近く売りやすい)
- ⑤高速道路…高速道路でつながっており、輸送に便利
- ⑥空港…空路での輸送も便利
- ⑦気候…日本海側だと雪が積もりやすいが、太平洋側は比較的温暖な気候

この他、電力が得やすい、工業用水が確保できる、波が穏やかな入り江や湾になっているなども挙げられる。

これらの理由を見つけ、工業がさかんな場所について考えを深めることができるように以下のような仮説を設定し手立てを行う。


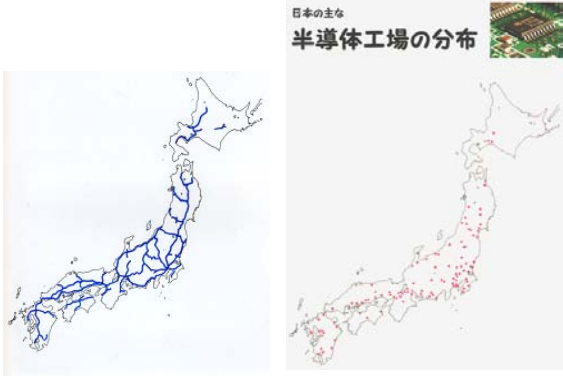

授業仮説

工業がさかんな場所がわかる「分布図」と、工夫した「地図」をもとに、工業がさかんな場所が集まる理由についての話し合いを仕組んだり、半導体工場の分布図と高速道路図の提示の仕方を工夫したりすれば、子ども達は日本の工業生産が多く行われている場所の様子がわかり、日本の工業の特色について考えを深めることができるであろう。

- まず、前時までに調べた「工業がさかんな場所」の理由について話し合う活動を仕組む。その際、根拠となる地図は教室に掲示しておき、地図を見ながら話し合いが進められるようにする。
- 様々な理由が出て、話し合った後は、教師が「太平洋ベルト」と「中京工業地帯」「京浜工業地帯」「阪神工業地帯」の3つの「三大工業地帯」という言葉を教えてまとめる。
- さらに半導体(IC)工場の分布図を提示し、平地や海沿いに限らず内陸部にも作られていることを読み取らせ、これらの分布は今まで話し合ったどの理由から分布されているかを考えさせる。
- 半導体工場と高速道路図を重ね合わせて提示することで、軽くて小さい半導体は車での運搬に適しており、空気もきれいな場所で作られるほうがよいことから、全国で作られるようになっていくことを知らせる。
- 最後に三大工業地帯以外の場所でも工業生産が進んでいることを知らせる。
- 「今日の学習で」を書き、本時のまとめを行う。



8 本時の展開

配時	学習活動と内容	支援・留意点
2	<p>1. 本時のめあてを確認する。</p> <p>学習問題</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">日本の工業にはどのような特色があるのだろうか。</div> <p>めあて</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">工業生産がさかんに行われている場所とその理由について話し合い、日本の工業の特色について考えを深めよう。</div>	<p>○ 教室の色々な場所に地図を掲示し、自由に見て回れるようにする。</p>
5 15	<p>2. 工業生産がさかんな場所とその理由について話し合う。</p> <p>(1)資料からわかる事実をもとに話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 立体地図…平地、入江 ・ 日本地図（行政）…人口の多い場所 ・ 高速道路、港、空港…交通網 ・ 気候図…温暖な気候 ・ 埋立地の資料…埋立地 <p>(2)工業がさかんに行われている場所についてまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人口 ・ 平地 ・ 交通網 ・ 海沿い ・ 「太平洋ベルト」 ・ 「三大工業地帯」…中京・京浜・阪神 	<div style="text-align: center;">  </div> <p>○ 根拠をはっきりとさせながら、自分の考えを発表させる。話し合うことで、考えを深められるようにする。</p> <p>○ 太平洋ベルト・三大工業地帯については教師が教える。</p>
10 5 8	<p>3. 半導体工場の分布図をもとに理由を話し合う。</p> <p>(1)半導体について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小さい ・ 軽い ・ 機械製品 <p>(2)半導体工場の分布を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本各地 ・ 太平洋ベルトとは限らない <p>(3)まとめを参考に理由を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高速道路 ・ 内陸でもできる理由… <p>(4)自分の考えを出し合う。</p> <p>○理由をはっきりとさせながら発表する。</p> <p>(5)分布図と高速道路図を重ねて運輸と工業生産について確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 空気のきれいなところで作らなければならない 	<p>○ 太平洋側や海沿いに限らず、山間の場所など色々な場所に点在している半導体工場の分布図を示し、太平洋ベルトに限らず工業生産がおこなわれている事実を捉えられるようにする。</p> <div style="text-align: center;">  </div>
	<div style="text-align: center;">  </div> <p>・ 最近は様々な場所でも工業生産がおこなわれている。</p> <p>5. 今日の学習をまとめる。</p> <p>○ 「今日の学習で」にまとめる。</p>	<p>○ 「今日の学習で」で、自分の考えの深まりについて振り替えられるようにする。</p>